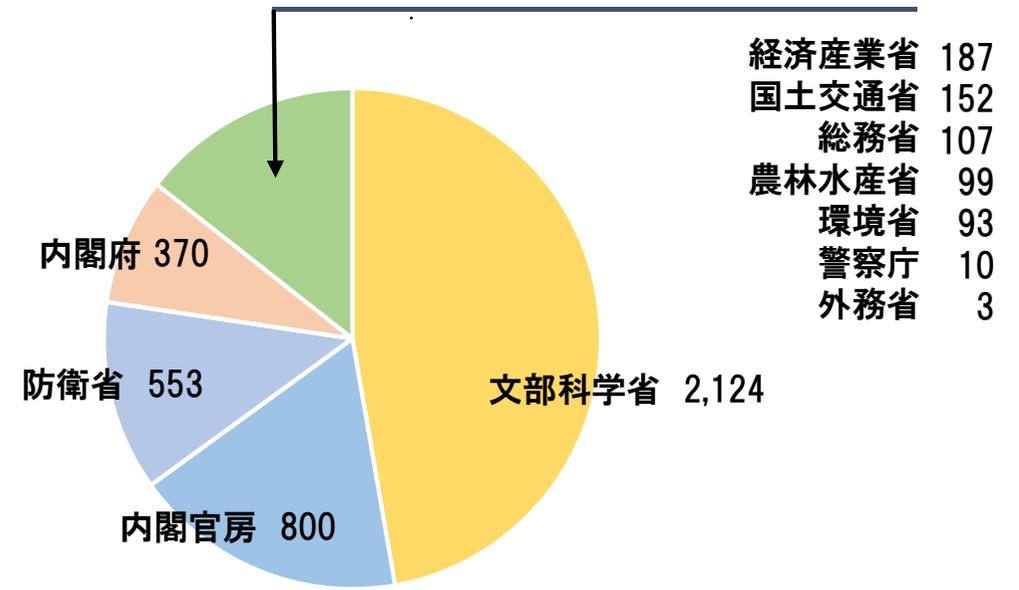
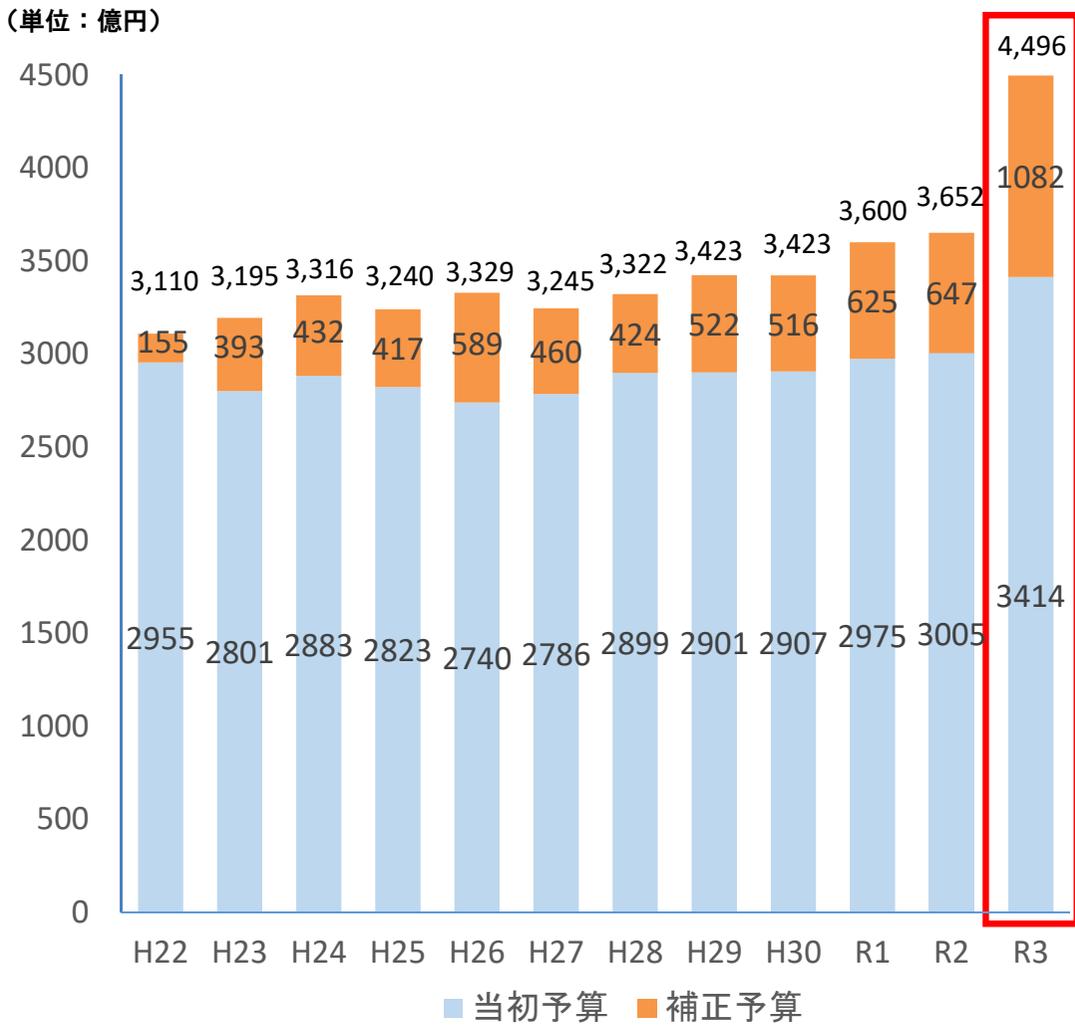


内閣府 説明資料

令和3年度当初予算案および令和2年度補正予算案における宇宙関係予算

令和3年度当初予算案	3,414億円	(前年度比	409億円増(13.6%増))
令和2年度第3次補正予算案	1,082億円		
当初+補正 合計	4,496億円	(前年度比	844億円増(23.1%増))



府省名	令和2年度当初予算	令和元年度補正予算	令和3年度当初予算案	令和2年度第3次補正予算案
内閣官房	625	160	625	175
内閣府	277*	111	194	175
警察庁	10		10	
総務省	72		102	4
外務省	3		3	
文部科学省	1,544	321	1,544	580
農林水産省	3		21	78
経済産業省	28		185	2
国土交通省	96*		126	25
環境省	36	53	51	42
防衛省	311*	1	553	0
合計	3,005	647	3,414	1,082

令和2年度当初予算 + 令和元年度補正予算	令和3年度当初予算案 + 令和2年度第3次補正予算案
785	800
389*	370
10	10
72	107
3	3
1,865	2,124
3	99
28	187
96*	152
89	93
312*	553
3,652	4,496

四捨五入の関係で合計額は必ずしも一致しない。
財源等の関係で現時点で金額を確定できないものは、前年度の予算額を基に計算。

※:臨時・特別の措置を含む

主な予算項目（各府省別）

全府省庁合計 4,496億円

【内閣官房】	<u>800億円</u>	【農林水産省】	<u>99億円</u>
● 情報収集衛星の開発・運用	800億円	● スマート農業技術の開発・実証プロジェクト	62億円
【内閣府】	<u>370億円</u>	【経済産業省】	<u>187億円</u>
● 準天頂衛星システムの開発・整備・運用	288億円	● 水素製造、半自律遠隔制御等研究開発	168億円
● 宇宙開発利用の促進	70億円	● 超小型衛星コンステレーション基盤技術開発	8億円
● 中央防災無線網の整備等	2億円	【国土交通省】	<u>152億円</u>
【警察庁】	<u>10億円</u>	● 準天頂衛星を利用したSBAS等性能向上整備	39億円
● 高解像度衛星画像解析システムの運用等	10億円	● 静止気象衛星ひまわりの運用	25億円※
【総務省】	<u>107億円</u>	● 測量分野での利活用の推進	28億円
● 量子暗号通信網の構築	39億円		
【外務省】	<u>3億円</u>	【環境省】	<u>93億円</u>
● 衛星画像判読分析支援、宇宙分野の外交政策の推進	3億円	● GOSATシリーズによる地球環境観測事業等	73億円
【文部科学省】	<u>2,124億円</u>	● 衛星による地球環境観測経費	14億円
● アルテミス計画に向けた研究開発等	514億円	【防衛省】	<u>553億円</u>
● H3ロケットの開発・高度化	189億円	● SSA（宇宙状況監視）の強化	104億円
● 先進レーダ衛星の開発	123億円	● 宇宙を利用した情報収集能力等の強化	430億円
● 技術試験衛星9号機の開発	45億円	● ミサイル防衛のための衛星コンステレーション活用の検討等	14億円
● X線分光撮像衛星（XRISM）の開発	40億円		(契約額ベース)

※ほか内閣官房(デジタル庁)一括計上分あり

主な予算項目（宇宙基本計画の目標別）

1. 宇宙安全保障の確保

- 準天頂衛星システムの開発・整備・運用（内閣府） 288億円
- 情報収集衛星の開発・運用（内閣官房） 800億円
- SSA（宇宙状況監視）の強化（防衛省） 104億円
- ミサイル防衛のための衛星コンステレーション活用の検討等（防衛省） 14億円（契約額ベース）

2. 災害対策・国土強靱化や地球規模課題の解決への貢献

- 静止気象衛星ひまわりの運用（国交省） 25億円※
- GOSATシリーズによる地球環境観測事業等（環境省） 73億円
- 先進レーダ衛星（ALOS-4）の開発（文科省） 123億円

3. 宇宙科学・探査による新たな知の創造

- アルテミス計画に向けた研究開発等（文科省） 514億円
- 月面活動の本格化に向けた研究開発（内閣府（推進費）） 70億円の内数
- X線分光撮像衛星（XRISM）の開発（文科省） 40億円

4. 宇宙を推進力とする経済成長とイノベーションの実現

- スマート農業技術の開発・実証プロジェクト（農水省） 62億円
- 測量分野での利活用の推進（国交省） 28億円

5. 産業・科学技術基盤を始めとする総合的基盤の強化

- H3ロケットの開発・高度化（文科省） 189億円
- 戦略的な衛星開発・利用の促進（内閣府（推進費）） 70億円の内数（再掲）
- 量子暗号通信網の構築（総務省） 39億円
- 超小型衛星コンステレーション基盤技術開発（経産省） 8億円

※ほか内閣官房（デジタル庁）一括計上分あり

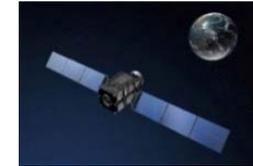
宇宙開発戦略推進事務局の 令和3年度当初予算案及び令和2年度補正予算案について

1. 実用準天頂衛星システムの開発・整備・運用

288.0億円：R3当初170.7億円＋R2補正117.3億円

(R2当初267億円※ ※臨時・特別の措置100.1億円を含む)

準天頂衛星の4機体制の運用と7機体制の確立に向けた開発・整備の着実な推進、機能・性能の向上等に取り組む。



準天頂衛星「みちびき」

2. 宇宙開発利用推進費

70.0億円：R3当初13.0億円＋R2補正57.0億円（新規）

各省連携の下で効果的・効率的な推進が期待できる以下の開発・実証を行う。

- ①将来の月面開発に必要となる技術（エネルギー、建設、通信等）
- ②衛星のデジタル化等の先進的基盤技術
- ③AI等を活用した衛星データ解析技術 等



衛星フルデジタル化

月開発関連技術

3. その他（宇宙利用拡大のための調査研究等）

9.4億円：R3当初9.4億円（R2年度当初8.8億円）

衛星開発・実証プラットフォームにおける戦略検討に必要な調査分析を含め、宇宙利用拡大のための調査研究を実施。

合計 367.4億円：R3当初193.1億円＋R2補正174.3億円

(R2当初予算276億円※ ※臨時・特別の措置100.1億円を含む)